

理科の目標

自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点

次の3つの観点で評価します。

- 1 知識及び技能
- 2 思考力、判断力、表現力等
- 3 主体的に学習に取り組む態度

具体的な評価基準

- 1 自然の事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、科学的に探求するために必要な観察・実験技能を身につけようとしている。
- 2 自然の事物・現象から問題を見つけ、観察実験を行い、得られた結果を分析、解釈、表現するなど科学的に探求している。
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとしている。

評価の方法

授業へ取り組む姿勢や発言・発表のようす、ノート等の整理状況及び提出状況、観察・実験への取り組みの姿勢及び技能、自己評価、総合・中間・期末テストなどのデータを総合的に評価します。

特色ある学習方法

日常生活には不思議なことがいっぱいあり、理科を学習すると解決することができます。そのためにも、観察や実験、日常生活との関連から、「なぜ?」「そうだったのか」と分かる喜びを味わえる授業を展開します。また、思考過程を重視し、分析したり、考えたり、説明したりする学習活動を重要視し、教えあい・学びあいながら、基本的な知識や技能の確実な定着を図ります。

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p><化学変化とイオン></p> <p>1章 水溶液とイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液と電流 ・イオンと原子のなりたち <p>2章 酸、アルカリとイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液の酸とアルカリ ・中和と塩 <p>3章 化学変化と電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電解質水溶液と金属板から電気を取り出す ・電池 <p><生命の連続性></p> <p>1章 生物の成長と生殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生殖と細胞の変化 ・植物、動物の生殖 ・有性生殖と無性生殖 <p>2章 遺伝の規則性と遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝の規則性 ・遺伝子とDNA <p>3章 生物の多様性と進化</p>	<p>☆イオンの生成が原子の成り立ち関係することを知る。</p> <p>☆酸とアルカリ、中和と塩について理解する。</p> <p>☆金属イオン、化学変化と電池についての原理を知る。</p> <p>☆細胞分裂と生物の成長、生物の増え方について理解する。</p> <p>☆有性生殖・無性生殖のしくみ及び親から子へ形質が伝わることを理解する。</p> <p>☆遺伝の規則性と遺伝子について理解する。</p>
2 学 期	<p><運動とエネルギー></p> <p>1章 物体の運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動している物体 ・運動の変化と力 ・等速直線運動と <p>2章 力のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力の合成と分解 ・慣性・作用・反作用 ・水中ではたらく力 <p>3章 エネルギーと仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなエネルギー ・力学的エネルギー ・仕事と仕事率 <p><地球と宇宙></p> <p>1章地球の運動と天体の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の自転と方位、時刻 ・太陽、星の動き ・地軸の傾きと季節の変化 <p>2章 月と金星の見え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月の満ち欠け、日食と月食、金星の見え方 <p>3章 宇宙のひろがり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の天体 	<p>☆運動の速さと向き、力と運動についての法則を知る。</p> <p>☆水中の物体にはたらく力、力の合成、分解、力と運動についての法則を知る。</p> <p>☆仕事とエネルギー力学的エネルギーの概念を知る。</p> <p>☆日周運動と自転、年周運動と公転の概念を知る。</p> <p>☆月や金星の運動と見え方についての法則を理解する。</p> <p>☆太陽系と恒星についての概念を知る。</p>
3 学 期	<p><地球と私たちの未来のために></p> <p>1章 自然のなかの生物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系における生物 ・炭素の循環 <p>2章 自然環境の調査と保全</p> <p>3章科学技術と人間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源の利用 ・科学技術の発展 <p>地域とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害と地域のかかわり <p>終章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会をつくるために 	<p>☆生物界での食物連鎖と生物のつり合いについて理解する。</p> <p>☆身近な自然環境の調査と環境保全について知る。</p> <p>☆エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質の利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用について理解する。</p> <p>☆地域の自然災害の理解をする。</p> <p>☆生物相の変化、資源の減少の理解と持続可能な社会に向けた行動判断を学ぶ。</p>